

## 移住・定住を促進するため、空き家バンクに登録を

加西市は、空き家を活用して移住・定住を促進し、人口増や地域の活性化を図るために、空き家バンク事業を行っています。

「空き家を売りたい、貸したい」と考えられている方は、空き家バンクに登録してみませんか。



谷町にある空き家

### ■空き家バンクへの登録手順

- ① **空き家の登録申込**／ふるさと創造課または空き家バンクのホームページにある登録申込書と登録カードに必要な事項を記入し、仲介を希望する登録業者を選んで、ふるさと創造課へ提出してください。
- ② **物件調査**／登録業者から連絡がありますので、立ち会いて物件調査にご協力をお願いします。
- ③ **物件の登録、情報提供**／問題が無ければ登録し、空き家バンクのホームページなどに掲載します。物件の状態によっては、登録できないことがあります。
- ④ **交渉・契約の手続き**／交渉・契約の申し込みがあれば、登録業者から連絡があります。交渉・契約などは登録業者が行い、契約成立の場合は仲介手数料が必要となります。

### ■空き家バンクとは

加西市への定住を目的として、空き家の利用を希望する方に対して、空き家バンクに登録された情報を、市が提供します。

空き家とは、個人が加西市内に所有する住宅で、現在居住していない、または近く居住しなくなる建物とその敷地のことを言います。ただし、分譲住宅や賃貸住宅など売却または賃貸を目的としている建物とその敷地を除きます。

### ■空き家の改修費用を補助します

空き家を改修して売却や貸し出しする方や購入した空き家を改修する方が対象となります。

#### 対象空き家

- ① 築年数が 25 年以上
- ② 平成 27 年 4 月 1 日以降の契約
- ③ 市から同様の補助金を受けていない

#### 補助対象

- ① 空き家（店舗や倉庫は除く）の主要構造部または居住用の部分（トイレ・風呂・台所）の改修
- ② 20 万円以上の改修
- ③ 市内に事業所を置く建築事業者による改修

**補助額**／改修工事の 1/2（上限 50 万円）

## 一生使う大切な番号「マイナンバー」

## マイナンバーが記載された「通知カード」と「個人番号カード申請書」を郵送します

マイナンバーが記載された「通知カード」と「個人番号カード申請書」が、10月中旬から11月末頃にかけて、全ての方の住所地に転送不要の簡易書留（世帯主宛）で届きます。

マイナンバーは生涯を通じて使う番号です。「通知カード」をなくさないように大切に保管してください。

詳しくは、広報かさい 8月号・9月号または市ホームページをご覧ください。

### ■通知カードと個人番号カードの違い

	通知カード	個人番号カード
交付開始	平成 27 年 10 月から	平成 28 年 1 月から
記載内容	マイナンバー、氏名、住所、生年月日、性別	
素材	紙	プラスチック
顔写真・IC チップ	なし	あり
身分証明	利用できない	利用できる
作成・交付方法	<b>全ての方</b> の住所地に転送不要の簡易書留で送付	<b>希望者</b> は地方公共団体情報システム機構へ申請書を郵送し、市役所市民課でカードを交付
有効期間	なし	発行日から 10 回目の誕生日まで（20 歳未満は 5 回目の誕生日まで）
利用先	就職、出産育児、病気、年金、災害など個人番号を確認する手続き	・就職、出産育児、病気、年金、災害など個人番号を確認する手続き ・e-TAX などの電子申請 ・マイポータル（マイナンバーに関係したさまざまな情報にアクセスできるシステム。平成 29 年 1 月予定）

※氏名・住所に変更があった場合は、市民課で記載事項変更の手続きをしてください。

## 薬の値段が新薬と比べて3割から5割安くなります

年々増加している医療費を抑えるため、ジェネリック医薬品（後発医薬品）をご利用ください。

ジェネリック医薬品を処方してもらうには、医師や薬剤師に相談しましょう。

### ■ジェネリック医薬品とは

新薬の特許が切れた後に、新薬と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつことを国が確認した医薬品です。すべての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。

### ■薬の値段が3割から5割安くなります

新薬（先発医薬品）の研究開発には、長い年月と莫大な投資費用がかかり、薬の値段にそのコストが反映されています。それに比べてジェネリック医薬品の場合、有効性や安全性が新薬で確認されていることから、開発期間やコストを大幅に抑えられたため、薬の値段も新薬と比べて3割から5割程度も安くなります。

### ■新薬と効き目や安全性は同じです

ジェネリック医薬品の開発には、さまざまな試験が行われ、新薬と効き目や安全性が同等であることが証明されたものだけが、厚生労働大臣によって承認されます。

効能や効果・用法・用量は基本的に変わりなく、製品によっては、新薬よりも飲みやすくなるように薬の大きさや味、湿気や光に弱いなどの品質面の改善による保存性の向上など、よりよく工夫されたものもあります。

### ■国民健康保険加入者の保険税の引き上げを抑制

医療費の中でも医薬品にかかる費用を抑え、国保財政の負担する保険給付費を削減することで、保険税の引き上げの抑制につながります。



ジェネリック医薬品利用促進キャンペーンでチラシを配る職員

## 薬と健康の週間(10月17日～23日)

- ①薬を記録する「お薬手帳」を持ちましょう。薬の情報を的確に伝え、重複投与の防止や相互作用の確認ができます。
- ②薬についての相談は、医師、薬剤師等専門家に。 問合先／加東健康福祉事務所 食品薬務衛生課 ☎ 0795-42-9372

# 高齢者インフルエンザ予防接種

## 12月中旬までに接種しましょう

インフルエンザは、風邪に比べ気管支炎や肺炎などを併発しやすく、命に関ることがあります。特に高齢の方は、症状が重篤化する可能性が高くなります。接種を希望される方は、12月中旬までに接種しましょう。

### ■対象者(接種日の年齢)

- ・65歳以上の方
  - ・60歳以上65歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害をお持ちの方
- ※日常生活が極度に制限される方に限る。

■接種期間／10月15日(木)～平成28年1月31日(日)

■料金／無料 ※指定医療機関以外で接種される方は、一部費用負担が発生する場合があります。

■回数／1回

■必要な物／健康保険証など本人確認できるもの

■接種医療機関／市内指定医療機関、北播磨の指定医療機関で接種できますので、医療機関へ事前にお問い合わせください。指定医療機関以外で接種される方は、接種予定日の1週間前までに、健康課で手続きをしてください。

### 【市内指定医療機関】

あさじ医院 ☎④ 0225	さかいこどもクリニック ☎④ 0415	北条田仲病院 ☎④ 4950
安積医院 ☎④ 0361	坂部整形外科 ☎④ 1444	堀井内科医院 ☎④ 0150
荒木医院 ☎④ 9711	佐竹医院 ☎④ 4057	まえだ内科神経内科クリニック ☎④ 2050
いずみ泌尿器科 ☎④ 5900	市立加西病院 ☎④ 2200	みのりクリニック ☎④ 8470
医療福祉センターきずな ☎④ 2881	田尻内科循環器科 ☎④ 7931	横田内科医院 ☎④ 5715
大杉内科医院 ☎④ 0023	徳岡内科 ☎④ 0178	米田病院 ☎④ 3591
小野寺医院 ☎④ 3737	西村医院 ☎④ 0001	※医療福祉センターきずなは、入所者・通所者などに限ります。
おりた外科胃腸科 ☎④ 6000	西村耳鼻咽喉科 ☎④ 6020	